

平成30年度 上田市立南小学校 学校関係者評価シート

学校目標	めざす子ども像 ～笑顔輝く南っ子～		
あたたかく ただしく	1	すすんで勉強する子ども	【知:ただしく】
	2	体をきたえる子ども	【体:つよく】
	3	がんばりぬく子ども	【体:つよく】
	4	自分で決めて行う子ども	【知:ただしく】
	5	思いやりのある子ども	【徳:あたたかく】
	今年度の重点目標(重点活動)		
知:正しく	わくわく学び合い	①じっくり考え、しっかり書く	
		②聴き合い、伝え合い、学び合う	
徳:温かく	にこにこ響き合い	③自分からあいさつや返事をする	
		④歌声や交流活動でつながる	
体:強く	とんとん鍛え合い	⑤力を合わせ、清掃に取り組む	
		⑥自分の命は自分で守る	

総合評価
<p>○南小グランドデザインに重点目標や様々なプランが掲げられ、それに沿って学校運営が進められている。学力検査、アンケート等の結果からも取組の成果が見られ、充実した教育活動が行えている。</p> <p>○いくつかの行事を見させてもらったが、子どもたちも先生方も前向きに取り組んでいる様子がたくさん目についた。運動会や音楽会等大変さはあったかと思うが、みんなで一つの方向へ向かおうとする姿勢が感じられる。</p> <p>○何と云っても子どもたちや保護者の自己評価点が高いのが嬉しい。先生方が諸活動をどう評価しているのかも知りたい。</p> <p>○完全な達成は難しいかもしれないが、「継続は力なり」。6年間でしか学べないことを限られた時間の中で、ぜひ続けてほしい。</p> <p>○子どもたちの元気な挨拶や明るい歌声も日々心地よく、今後も引き続き学校・家庭・地域と一緒に学んで学ぶ楽しさや共に育ち合う学校づくりができることを期待している。</p> <p>○南っ子応援隊・母親文庫パンプキンス等の活動を通して、子どもたち・学校・地域とたくさん繋がりができ、とても嬉しい。</p> <p>○アンケートでは分からない・つかみきれない一人一人への着目も大切にもらいたい。</p>

領域	対象	評価項目	評価の観点	
教育活動	学年・学級経営	⑤気づき清掃の推進・奉仕精神の醸成	ひざつき清掃など、具体的な清掃の方法を指導し、自分から気づいて前よりきれいにすることで、協働することのよさや奉仕の大切さを意識させることができたか。	
		⑥規範意識の高揚と危機管理意識の向上のための指導	校内生活で「右側廊下歩行」の徹底をさせて規範意識の高揚を図れたか。通学時に「道路横断前後の立ち止まり(確認・挨拶)」を意識付け、実践させることはできたか。	
		③気持ちのよいあいさつの充実と返事の徹底	積極的な声かけや児童会活動との連携で、気持ちのよいあいさつや返事のよさを自覚させ、快適な学校生活に向けて取り組んでいるか。	
		④響き合う歌声や交流活動による認め合える仲間づくり	仲間と歌声を響き合わせたり、異学年や地域の方々とのふれあい交流を行ったりすることで、互いに認め合える集団づくりを進めているか。	
	学習指導	①授業のユニバーサルデザイン化・南小スタイルの推進	校内及び教室環境や教材の整備ができたか。「学習問題」「まとめ」を板書計画に位置づけ、授業の流れがわかる板書の工夫ができたか。	
		①じっくり考え、しっかり書く振り返りの時間の確保	1時間で学んだ内容を書いたり、学び方を振り返ったりする時間を確保し、子どもの考えの変容や定着状況を確認しているか。	
		①基礎基本の定着・家庭学習の充実	ドリルや学びの時間で、つまづきを把握して、丁寧な指導を行い、基礎基本の定着を図れたか。「家庭学習の進め方」をもとに家庭と連携した家庭学習の充実に努めているか。	
		②わからないことを聴き合い、考えを伝え合い、学び合う授業づくり	ペアやグループでわからないことや互いの考えを聴き合い、自分たちの考えを深め合い、それを伝え合いたくなる学習場面を設定しているか。	
		地域との連携	信頼関係でつながる学校づくり	学校・学年・学級だよりや懇談等を通して、学校での子どもの様子を伝えたり、うれしかったことや心配なことなど個別に連絡を取り合ったりすることができたか。
			南っ子応援隊の活用・三点固定の生活習慣の確立	地域の方と連携した教育活動を昨年以上に広めることができたか。家庭と連携して三点固定による望ましい生活習慣の育成を図ることができたか。

A	B	C	D	
○				上級生が自分たちの清掃に誇りをもって取り組んでいることが、全校のよい取組につながっていると思う。主体的に清掃活動を意識して行うことで、児童アンケートでも目標が達成でき、環境美化の大切が身についている。
	○			集団生活で大切なことを学べることを大切にしてほしい。健康や安全教育について「自分の命は自分で守る」意識を高め、校内外巡視や通学の安全指導の更なる徹底をお願いしたい。
		○		学校・近所・登下校時…。家庭の力も必要不可欠。校内外での挨拶が主体的(子どもの側から)になってきた。いつ来校しても自分から気持ちのよい挨拶をしてくれる児童が多く、明るい心地よい雰囲気づくりができている。
○				音楽会に普段の歌声や取組のよさが表れている。心が豊かになる仲間づくりができており、とても嬉しく感じる。合唱部・金管部の地域イベントへの参加に感謝している。
○				電子黒板・大型テレビ等が完備され、黒板の活用や掲示物、子どもの作品展示等、学ぶ環境が丁寧に整えられていてよい。板書の工夫はどの学級もすばらしく、ユニバーサルデザイン化が浸透している。
		○		保護者アンケートにおいては課題の残る評価となったことから、振り返りの指導の充実を更にお願したい。子どもたちの集中力を高めたり、のびのびと活動させたりと授業のめりはりがはっきりしてよい。
			○	アンケート結果の最も課題のある評価項目であることより、自主学習や家庭学習の取組に保護者・子ども・学校が一体となって行えるとよい。学力テストの結果を保護者に伝えたり、「家庭学習の心得」を配付したり、保護者に分かるように発信している点が家庭・地域との連携につながる。
			○	互いのよさや頑張りを認め合える話し合いができており、人の意見を聴いたり、自分の意見もきちんと伝えたりできる授業を参観することができた。
○				「学校だより」がわかりやすく発信されている。メール配信による素早い情報提供は有効で適切だが、子どもや保護者への個別対応には工夫して向き合ってもらいたい。パンプキンスだよりを通して、読み聞かせの様子や内容を伝えられた。
○				とてもよい取組である。続けていくことが大切。家庭によつての差は否めないが、少しでも多くの家庭が取り組めることを願っている。読み聞かせや朝ドリルの丸付け等学校支援ボランティアによる地域の人材活用は大きな成果が見られ、引き続き支援の協力を願いたい。

※評価基準 A…達成できた B…おおむね達成できた C…やや達成できなかった D…達成できなかった